



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

シンガポールの政策 上下水道政策編

一般財団法人自治体国際化協会 シンガポール事務所

1. 概要
2. 上下水道に係る行政組織
3. 上下水道に関する基本方針
4. 各種政策（4つの蛇口、下水道など）

(1) シンガポールの水事情

- 狭小な国土、平坦な地形
 - 水源林等も少なく、保水・貯水能力が乏しい
- 大きな河川がない
 - 取水に限界あり
- 人口増加、政府による積極的な産業誘致
 - 水需要は増加の一途
- マレーシアの輸入水に依存
 - 外的資源からの独立



「貯水池」でもあるマリーナエリア

(2) シンガポールの水政策

- 水の安定的な供給は国家の命運に関わる問題
 - 4つの蛇口（貯水池、輸入水、下水再生水（NEWater）、海水淡水化）
を中心とした水源開発や循環利用推進に取り組む

PUB (Public Utilities Board : 公益事業庁)

- 1963年に設立した環境・水資源省傘下の法定機関
 - ・ 設立当初は水、電気、ガスの供給機関
 - ・ 2001年 電気、ガス部門が民営化

旧環境省の内局であった下水道部門がPUBに移管

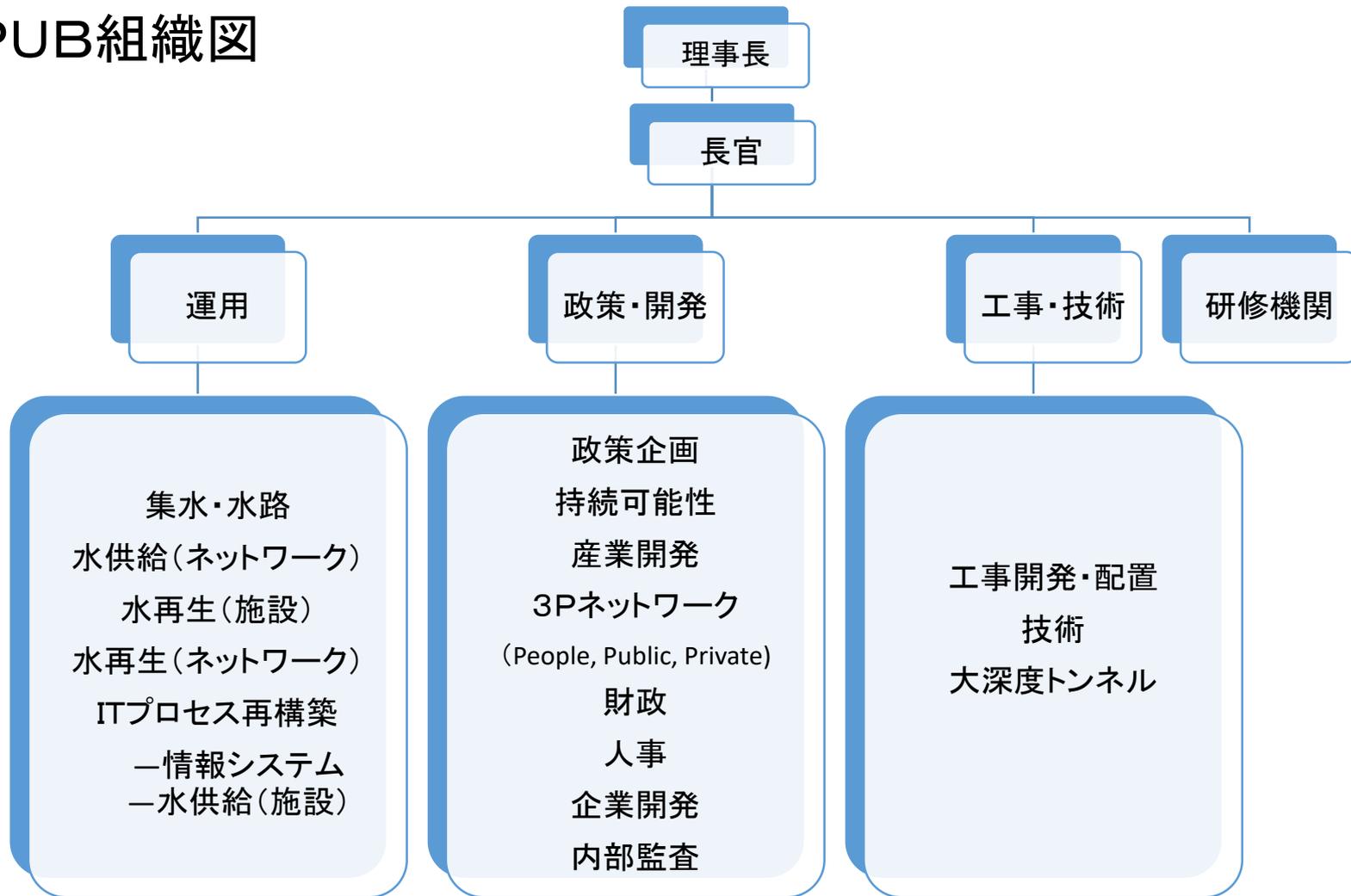
- 水関連政策全般を所掌
 - ・ 上水・下水に関する水政策の企画立案
 - ・ 水処理施設の建設・管理・運営



2. 上下水道に係る行政組織



PUB組織図



【出典】 PUBウェブサイトをもとに作成

3. 上下水道に関する基本方針

○ Our Water, Our Future

- ・ PUBにより2016年6月に発表された長期計画（2017年3月改訂）
- ・ 2060年までの水需要を分析したうえで目標値を設定
- ・ 最新の取り組みや水産業等についても言及



<水需要の増加>

		2016年	→	2060年
全体(1日の使用量)		4億3000万gal	→	8億6000万gal
内訳	家庭用水	1億9350万gal (45%)	→	2億5800万gal (30%)
	工業用水	2億3650万gal (55%)	→	6億200万gal (70%)

<水需要の増加への対応策>

①下水再生と海水淡水化による供給能力の向上

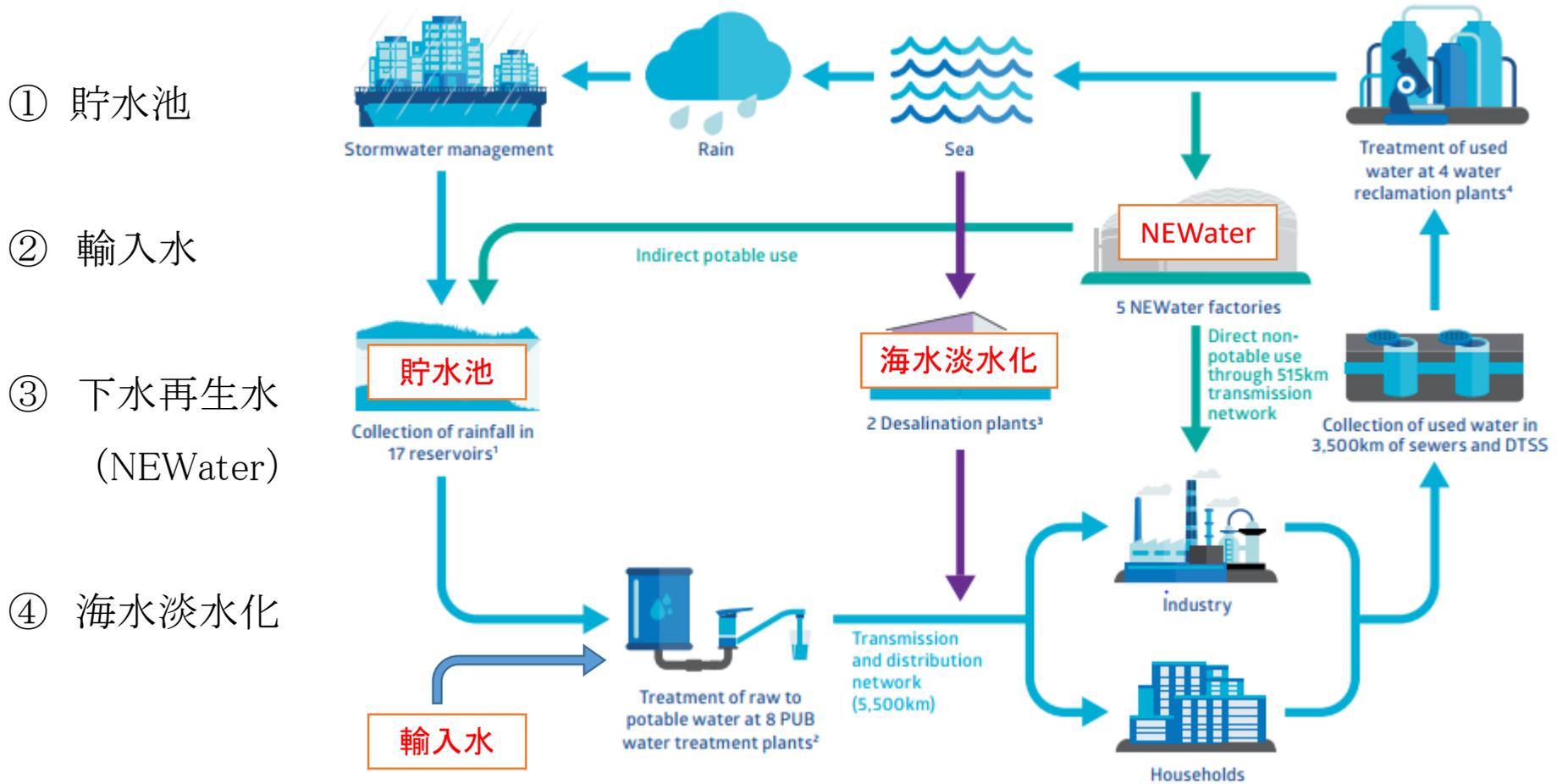
		2016年	→	2060年
下水再生水	最大1億7200万gal (40%)	→	最大4億7300万gal (55%)	
海水淡水化	最大1億750万gal (25%)	→	最大2億5800万gal (30%)	

※なお、輸入水は、2061年にはゼロとなる予定

②節水の推進…家庭用水（1人1日当たり） 2016年：1480 → 2030年：1400

4. 各種政策

(1) シンガポールの水源 (Four National Taps; 4つの蛇口)



【出典】 Our Water, Our Future (The Water Loop)をもとに作成 7

(1) シンガポールの水源 (Four National Taps; 4つの蛇口)

① 貯水池

- 17カ所の貯水池

河口や入り江を閉鎖した淡水貯水池

- マリーナ貯水池 (15番目の貯水池)

マリーナ湾口に全長350メートルの堰を設置
(マリーナ・バラージ)

< 3つの機能 >

- ・ 利水：集水地域の拡大→水需要の10%を賄う
- ・ 治水：低地の洪水防水 (シンガポール川水位制御)
- ・ 教育：レクリエーション (スポーツの場)

ギャラリー設置 (環境教育)

※水政策のショーケース化



(1) シンガポールの水源 (Four National Taps; 4つの蛇口)

② 輸入水

- 原水の一部をマレーシアのジョホール州から輸入
ジョホール海峡に3本の送水管を設置

- 原水供給契約

- 「The Tebrau and Scudai Rivers Water Agreement」 (終了)

テブラウ川とスクダイ川を水源とする契約

1961年～2011年 日量8,600万gal (約39万 m^3)

※国内の水源調達多様化と強化を背景に更新せず

- 「The Johor River Water Agreement」

ジョホール川を水源とする契約

1962年～2061年 日量2億5,000万gal (約113万 m^3)

- 2061年には輸入水はゼロとなる予定



ジョホール海峡に設置されている
送水管

4. 各種政策

(1) シンガポールの水源 (Four National Taps; 4つの蛇口)

③ 下水再生水 (NEWater・ニューウォーター)

○ NEWaterとは

下水処理場で通常の処理後

さらに3段階の浄化処理を追加

飲用可能な水準まで高度に処理した水

<3段階>

精密ろ過 → 逆浸透膜 → 紫外線処理

○ 1998年から研究開始、2003年給水開始

○ 工業利用できるほどに清浄→工業用水として提供

○ 間接的な飲用水化

貯水池へ放水 → 雨水等と混合 → 通常の浄化処理を経て給水

○ 現在5か所の製造工場稼働(ベドック、克蘭ジ、ウルパンダン、チャンギ2か所)

→ 全水需要の40%を確保



NEWater 製造工場



4. 各種政策

(1) シンガポールの水源 (Four National Taps; 4つの蛇口)

④ 海水淡水化

○ 海水淡水化工場

(A)、Bで全水需要の25%を確保)

①2005年 最初の工場(トゥアス)稼働開始

・造水能力：13万0,000m³/日

②2013年 2カ所目の工場(トゥアス)稼働開始

・造水能力：31万8,500m³/日

※2020年までにさらに3か所に工場を建設予定

(C)西部トゥアス (D)マリーナ・イースト (E)ジュロン島西部)

○ PFI方式を採用

民間企業が工場を自己資本で建設・運営

造水した水をPUBへ売却

※C)西部トゥアスの工場だけ所有・運営はPUB



海水淡水化工場



(2) 節水への取組み

- 一人一日あたりの水使用量の目標

2003年 165ℓ → 2016年 148ℓ → 2030年まで 140ℓ

- 家庭用水の節水に関する経済的インセンティブ

使用量に応じて、料金単価と水保全税率が低くなるよう設定してある。

(2017年7月時点)

※2017年7月に17年ぶりに値上げを実施した。

2018年7月にも再度値上げが予定されている。

水使用量 (m ³ /月)	料金 (SGD/m ³)	水保全税 (SGD/m ³)	下水料金 (SGD/m ³)
0~40	1.19	0.42(料金の35%)	0.78
40~	1.46	0.73(料金の50%)	1.02

※1m³=1,000ℓ

【出典】 PUBウェブサイトをもとに作成

(3) 下水道

- 下水道普及率100%
- 分流式下水道（汚水と雨水を分離）
- 大深度トンネル下水道システムの整備
（DTSS: Deep Tunnel Sewerage System）
自然の勾配を利用して下水を集水（自然流下）
中継ポンプ不要、下水処理場集約
→省エネルギー、国土有効活用、コスト削減

①第1期：1999年～2009年 中部から東部にかけて

全長48km 終端にチャンギ下水処理場を建設

下水道処理後：シンガポール海峡に放水、水再生処理

②第2期：2013年～2022年完成予定 中部から西部にかけて



大深度トンネル下水道システム

(4) 啓発

- 学習機会の提供（水教育）
 - ・ サステイナブル・シンガポール・ギャラリー
（Sustainable Singapore Gallery）
マリーナ・バレージの仕組みを紹介
 - ・ NEWater Visitor Centre
ニューウォーターの製造過程等を紹介
- 水辺での美化活動
（ABCウォータープログラム）
 - ・ Active（行動的で）
Beautiful（美しく）
Clean（きれいな）
 - ・ シンガポールの水路等を美しくきれいな
水辺環境に変容
 - ・ 市民をより水環境へ近づけることによる
水資源保全意識を育成



Sustainable Singapore Gallery



豊かな水辺環境を整備（カラン川） 14

(5) 水関連産業の集積・ハブ化

- 水資源開発→関連産業の集積を活かし、世界的な水関連産業の拠点へ
(弱み・課題を強みに変える)
- 水関連企業：約180社、研究施設：20社以上が立地
- シンガポール国際水週間
(Singapore International Water Week)
 - ・ 2008年から2011年まで年次開催、2012年以降は隔年開催
 - ・ 商談会、見本市、各種ビジネスフォーラムを実施
 - ・ JETROがジャパンパビリオンを設置し、自治体も企業等と連携してブース出展



国際水週間 ジャパンパビリオンの様子

～ ご清聴ありがとうございました ～

E N D



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore